

仙人通信 230 頭高山(300m)

頭高山(づつこうやま)は、小田急線渋谷駅の南にある震生湖から連なる渋谷丘陵の西端に、又四十八瀬川の東に位置する山で、春には八重ザクラが咲く事で有名な山である。

渋谷駅から東京赤坂と京都を結ぶ矢倉沢往還を通り、尾根道に登った後、白山神社・頭高山・神山滝から四十八瀬川に沿って大井松田駅へ向かうコースとした。

渋谷駅の東側に位置する県道 708 号の歩道を進む事、15 分程で栄坂バス停(渋谷中学校入口)で、小さな橋を渡ると緩い上り坂となる。更に 15 分程でトンネルを抜け 100m程進むと頭高山を示す道標があり、旧道を 5 分程進み更に山本学園のバス停を右に曲がり県道の上を過ぎ中丸橋である。ここからは、みかんや野菜が壇状に植えられた挿鉢を半分にした様なコースを時計廻りに登る事 15 分程で T 字路に突き当たる。昔の矢倉沢往還である。

目の前(北側)には、大山・表尾根・塔が岳・丹沢山・檜洞丸までが一望できる休憩ポイント(渋谷峠)である。5 分程で篠窪方面との分岐点を右に曲がり、更に 5 分程で雁音神社(京から鎌倉に向かう姫様の悲しい伝説『死?』により作られたと言われる)である。

進む事 2 分程で山頂と白山神社を示す道標である。200m程の所に神社がある事から訪れた。

神社の鳥居の奥には、樹齢 600 年・高さ 46m・径廻りが 4.9m の県の記念樹の大きな杉の木が 2 本ある(秦野市指定記念物)。下ったコースを、山頂を示す道標まで戻り、ここからが山登りコースである。15 分程で、手を合わせた形の 1m 程の白い石の碑があり戦没者慰霊の碑とある。世界大戦の際に軍人としてお亡くなりになった渋谷地区の方々の慰霊碑である。更に 12 分程でトイレのあり、丹沢方面が望めるビューポイントだ。

コウバイ・ロウバイ・スイセンにイヌフグリやホトケノザが咲いて迎えてくれていた。

数分進むと山頂を目指す右回りと左廻りのコースの分岐点である。沢山の植林された桜の林の中を登ること 10 分程で休憩の四阿と鳥居が置かれた頭高山山頂である。山頂の説明板に人の頭に似ていることから相模国風土記稿には、『丸山ぼつこう山』が昔の名前であると書かれていたとある。落葉しているこの時期、山頂から箱根や海そして丹沢も望めた。

休憩後山頂から 100m程にある周回路を廻った後、先程のトイレのある所へ 20 分程で戻り神山滝(落差 12m 程)に向かう事にし、このコースで間違いがないとの助言いただき踏み出した。落葉で埋もれたコースらしき踏み跡を頼りに進むと、滝音が聞こえるポイントであるが冬季は滝へ直接進む事が禁じる張紙だ。そこで 30 分程かけて川沿いの登山ポイントへ降り、滝島橋の横にあるドアを開いて滝の下まで行き、滝を確認し四十八瀬川沿いを下って大井松田駅に 40 分程で到着した 3 時間 10 分(17000 歩)の旅路となりました。(R5.2. 17)

白山神社



丹沢方面



山頂



神山滝

